

子育て目線、移住者目線を、 まちづくりの力に

わたなべ
渡邊

みちよ
美千代

45歳・2児の母・完全無所属・移住者

リモートワーク・米作り・城北小PTA会長

1981年：4月東京都荒川区の町工場の家に生まれる
2000年：東京都立芝商業高等学校 商業科を卒業後 都内企業に就職
2011年：東日本大震災、約2年のボランティア活動スタート
2012年：現在勤めているITベンチャー企業に転職
2014.15年：第一子、第二子出産
2023年：東京都から家族3人で飯山市（外様）に移住
2025年：地域の方に助けていただきながら米作りを始める
2025.26年度：城北小学校PTA会長、学校運営協議会委員

みなさん、こんにちは**渡邊美千代（わたなべみちよ）**と申します。

私は2023年の春に、東京都から家族3人で飯山市に移住し、現在は外様地区(顔戸)で暮らしています。

特別な学歴や職歴はない、ごく普通の働く母親です。でも「当事者」として迷いや不安、そして喜びも経験してきました。働きながらの子育て、ひとり親の奮闘。移住者として、知り合いが誰もいない土地でゼロから地域に馴染むことの難しさ。わが子の学校への行き渋りや、通級・特別支援学級への通学に寄り添ったこと。食物アレルギーを持つ子どもを育てる、日々の不安。沢山の人の力を借りて叶った、自分の田んぼでの無農薬 米作り。土に触れる豊かさや食べ物をつくれる喜び。PTA会長として、たくさんの保護者のみなさんの生の声を聞かせていただいたこと。これらはすべて、私の大切な財産であり、政策を考える上での原点となっています。

私は「子育て・教育」「移住・定住」「地域資源の継承と価値の創造」を政策の3つの軸とし、裏面の5分野で具体的な取組を提案します。これらの取組が、人口減少が進む飯山市の未来への大切な投資になると信じています。

中でも「教育への投資」は、飯山市の未来を左右する最重要項目です。

これからの予測不能な時代でも、自分を愛し、自分らしく考え、行動できる子どもたちを育みたい。

飯山市の『未来の主役たち』を育てること以上に、価値のある長期的投資が他にあるでしょうか。

私は、飯山市ならではの地域資源をより活かした学校環境をつくり、「教育移住」を推進したいと考えます。

そして豊かな教育を求め、移住を検討する家族が安心して定住できるよう、市民の皆様から寄せられる声を活かし困りごとや不便を一つずつ改善していきます。それは移住者のためだけではなく、いま飯山市で暮らす全ての市民の皆さまが「ここに住み続けたい」と思える街づくりへも繋がっています。

予算や条例の審議、行政の監視、市民の声を届けること。これらは当然、これからも地方議員の大切な仕事です。

しかしこれからは、市民、行政、企業、学校、福祉、商店など、地域の人や団体、知識や経験を議員が「窓口」となって繋ぐ時代です。市民の皆さまと共に飯山市の未来を描き、そこから生まれるプロジェクトを市内外へ広く発信していきます。また、時代の変化や市民のニーズを捉え、議員としての活動や役割も見直していきます。

雪・森・水・食・文化・人 飯山は資源の宝庫
余白だらけのこのまちで 新しい挑戦を始めよう！